

全員が力を発揮し認め合う学級づくり

困っていると見える学級

たとえば、「**分からないことはありませんか**」と問いかけたのに、次のような子どもの姿を目にすることはないか、**振り返って**みましょう。



本当は分からないのに「分からない」と言わない。



先生が分からない子どもに対応していると、不快感を示す。

こんな姿も

この姿が生まれる理由を「**子どもの視点**」から掘り下げてみましょう。



その子は「分からない」と打ち明けた後のことを心配していませんか？



分からない子どもに対応している間に、その子は学びたがっていませんか？

こんな理由も

「**子どもの視点**」に立って、自分の実践を見直してみましょう。



「**子どもの視点**」に立って見直した内容を**交流**してみましょう。

(たとえば、こんな問いかけで対話を深めていきましょう)

- ・「子どもの視点」に立って実践を見直したら、○○先生はどんな気づきがありましたか？
- ・「子どもの視点」から掘り下げて考えたら、こんな問題に気付いたのですが、○○先生だったらどう考えますか？

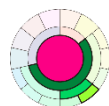


メモ

試みたいこと

「困っていると見える学級」という着眼点で「**子どもの視点**」から授業づくりをする際に心に留めておきたいこと、新たな選択肢として試みたい実践などを記入しておきましょう。

(研修実施日 年 月 日 氏名)



長野県教員育成指標との関連

「困っていると見える学級」は、E「教育のプロ」としての高度な知識や技能の〈生徒指導〉⑩〈個への指導〉ならびに⑩〈集団への指導〉に関連しています。